

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

有限会社プログレ総合研究所

②事業者情報

名称：	すてっぷ	種別：	共同生活援助
代表者氏名：	管理者 北田 壮	定員(利用人数)：	すてっぷ 18 いっぽ 7 名
所在地：	〒 354-0044 すてっぷ 埼玉県入間郡三芳町 北永井381-3 〒356-0057 いっぽ 埼玉県ふじみ野市市 沢1-8-8	TEL	049-258-0061

③評価実施期間

令和 7年 9月 1日(契約日) ~ 令和 8年 2月 13日(評価結果確定日)
--

④総評

<p>◇特に評価の高い点</p> <p>①利用者にあったスピード、内容で地域生活力が向上するよう支援をしている 「いっぽ」では、自主性、社会性、自立心を大事にした支援を方針として掲げている。利用者自らが興味を持ったことを大事にし、利用者に「やってみたい」「やってみよう」という気持ちが芽生えるよう動機づけの声掛けに努めている。地域で生活するためには生活のルールと困った時の対処方法の理解が必要であると考え、分かるように説明の工夫をしている。「すてっぷ」においては、利用者の地域生活支援の一つとして学習の支援もおこなっている。作業所での仕事では、数を数える工程があり、できた方が仕事の幅を広げることができる。一人暮らしには、金銭管理として決まったお金で生活をするスキルが必要であり、利用者と相談しながらお小遣いをシュミレーションする取り組みをおこなっている。どちらのホームも利用者の特性を考え、その人にあったスピード、内容で地域生活力の向上を支援している。</p> <p>②グループホーム周知のための様々な取り組みをおこなっている グループホームの生活時間は、実習生の時間帯にあわずこれまで学生に体験してもらう機会になりにくかったが、法人内で受け入れている実習生に夕方見学をしてもらったり、すぐに入所するわけではないが、将来の選択肢として、特別支援学級の学生の見学を受け入れたり、運営面では安定的な活用には工夫が必要であるがショートステイを設け体験的な利用につなげたり、将来の利用者や職員の採用につながるように活動している。</p> <p>◇特にコメントを要する点 本部と距離が離れているホームの情報共有の方法について検討を期待する 現在、委員会活動などは、法人単位でおこなわれており、グループホームからも委員会のメンバーが選出されている。しかし、会議の開催時間とグループホームの生活時間が合わないこともあり、メンバーが参加ができないこともある。議事録等で会議内容は共有されているが、実際に各部署のメンバーが会議に参加できる機会が増えることで、話し合いの場に職員の意見がより集約され、決定事項の浸透も深まることが期待される。将来的に現在の位置から引越えをする予定もあることから、地理的な距離がある中ででの情報共有の方法について検討を期待する。</p>
--

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

<p>この度は、当グループホームの取り組みについてご評価いただき、誠にありがとうございます。利用者一人ひとりの特性に合わせた支援や、主体性を大切にした関わりについて高く評価いただけたことは、日々支援にあたる職員にとって大きな励みとなります。今後も、生活スキルの習得や学習支援など、地域で安心して暮らす力を育む取り組みを継続してまいります。 普段の業務や意識について客観的な視点から評価していただくことで、法人や私たちが日頃取り組んでいる内容への理解が深まり、改めて多くの気づきを得ることができました。その中でいくつかの課題も明らかになり、現在の評価に満足することなく、福祉を担う存在として多様な視点や技術を取り入れながら、今後もサービスの向上に努めていきたいと感じております。</p>
--

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり